

## 第2回 保育部会 総務委員会報告書

|   |             |      |                       |     |                 |
|---|-------------|------|-----------------------|-----|-----------------|
| 浜田市保育連盟会長<br>山崎 央輝  |             |      | 保育長部会長<br>吉中 馨（安城保育園） |     |                 |
| 開催<br>日時  | 令和4年10月26日  | 開催場所 | リモート会議                | 記録者 | おぐに保育園<br>中村 裕子 |
|   | 14:00～15:00 |      |                       |     |                 |
| 出席園   | 17園・所       |      |                       | 欠席園 | ちどり保育所<br>三隅保育所 |
| <p>1. 各委員会報告</p> <p>①研修委員会</p> <p>6月 9日 普通救命講習<br/>16日 〃</p> <p>7月 8日 職員研修 「気になる子の支援」<br/>講師 川崎医療福祉大学 重松 孝治氏<br/>ホームページで報告・感想を載せている。</p> <p>10月27日 造形研修 講師「アトリエ・スノイロ」栗山 千尋氏<br/>1月末 研修委員会 今年度まとめを予定</p> <p>②広報委員会</p> <p>9月 4日 第1回広報委員会<br/>ホームページ実行委員会の報告、保育部会の内容を決める。<br/>20園の運動会・発表会の予定を記載<br/>救命講習・職員研修の様子を記載<br/>主任研修も記載予定</p> <p>9月28日 ホームページ実行委員会<br/>各部会の担当者が参加<br/>今後、10月27日の造形研修の様子や研究発表の報告を載せる予定。<br/>2月初旬 広報委員会の今年度のまとめをする。</p> <p>③造形教育</p> <p>島根県保育所・幼稚園造形教育研修会 鹿島町 欠席<br/>造形教育審査会作品展 コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>④長寿しまね</p> <p>7月27日 長寿しまね推進会議総会 書面総会<br/>資料に目を通し表決所を送る。</p> <p>2. 県保協報告</p> <p>9月7日 主研任保育士・主幹保育教諭研修会 いきいきプラザ島根にて参加<br/>第2回保育士部会</p> |             |      |                       |     |                 |

「手つなぎ」86号発刊について 令和5年3月発行予定

今まで年2回の発行だったがコロナ感染予防の点から年1回に変更  
保育士・保育教諭スキルアップ研修会 オンライン開催  
保育者研修 参集型を基本 感染状況によりWEBに変更  
参集型の場合

期日：令和5年1月20日（金）

会場：出雲市 朱鷺会館

内容：保育者の心をなごます（予定）

講師：前名古屋市けやきの保育園 園長 平松 知子氏

次回：第3回保育士部会 令和5年1月11日（水）

### 3. 研究発表大会報告

7月14・15日 中国大会（山口）

発表者 三浦先生 パワーポイント 柴田先生 発表補助 古川先生 渡辺先生  
総括 濱崎園長先生

参集だったので、いろいろ打ち合わせが出来て良かった。

質疑応答はあまりなかったが、「連絡帳での写真掲載の頻度」「職員会の形態はどんな風に行っているか」について質問される。

反対にこちらから「どうやって研究発表をまとめているか」と質問を投げかけ、それに答えてもらった。

応答的な保育が良かったと言われ、子どもたちを見る、知ることが一番必要と言われた。

10月20日 全国大会（東京） リモート開催

質疑応答

「家庭へのハッピースマイルデーの頻度は」と質問される

いろいろな切り口があって良かった。いろいろ切り口があって良かったし、市全体で取り組み 統一出来て良かったのではないかとと言われる。

12月 県大会（大田）

1月に研究委員会を開催予定

### 4. 主任研修報告

21世紀の園づくりの課題について ～主任として知っておいてほしいこと～

一般社団法人 家族・保育デザイン研究所 代表理事 汐見稔幸 氏

研修を受けての感想

- ・異年齢児との関わりの大切さを感じた。子ども達にとっていい環境づくりを作っていく。
- ・安全・安心にとられ子ども達の学ぶ機会を奪っていつているのではないか。非認知能力を育てるため、職員間で話していく機会を設けようと思った。
- ・「子どもの育ちを園内で議論する時間を作ってほしい」と言われたことが印象的で、実践していこうと思った
- ・子ども主体の保育に取り組んでいる。行事の内容や競技など子ども達と話し合っているため、スムーズにでき、意欲的になった。
- ・職員間で子ども達の事を話が、ネガティブ事が多いので、ポジティブな内容を話していきたい。
- ・子ども達といろんな経験しているが、どうしても結果がすべてになりがちになるが、発達過程の大切さを感じた。などの感想が出ました。

## 5. その他

議事録は参集する場合は、会議の写真を撮って掲載する。

Web の場合は議事録に記載する。

次回 令和5年1月12日(木) 14:00～ 福祉センター 研修室

新年度どんな研修を受けたいか、職員で話し合い聞いて来る。

### ■HP活動報告用掲載内容

10月26日に保育部会総務委員会をZOOM会議にて開催し各委員会及び保育研究大会等の活動報告を行いました。